

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



G.O.O.A.F

貴音編

身体の内外を
清め
心を穏やかに

今宵は満月

わたくしの
待ち望んでいた時

あなた様との
逢瀬の時

裸身となった
わたくしを
縄で縛り

身動きできない
わたくしを見て

全身を
撫で回し
弄り倒す

あなた様は
微笑んで
おりました



奇妙な椅子に
縛られ
足も縛られ

不安がる
わたくしに
突きつけ
られたのは……

大きな硝子で出来た
円筒形の器具
浣腸器でした

それをどうするか……
考えるまでもありません



尻穴に冷たい感触を感じた後
生温い僅かな粘度を持つ液体が
腸の中に注入されました

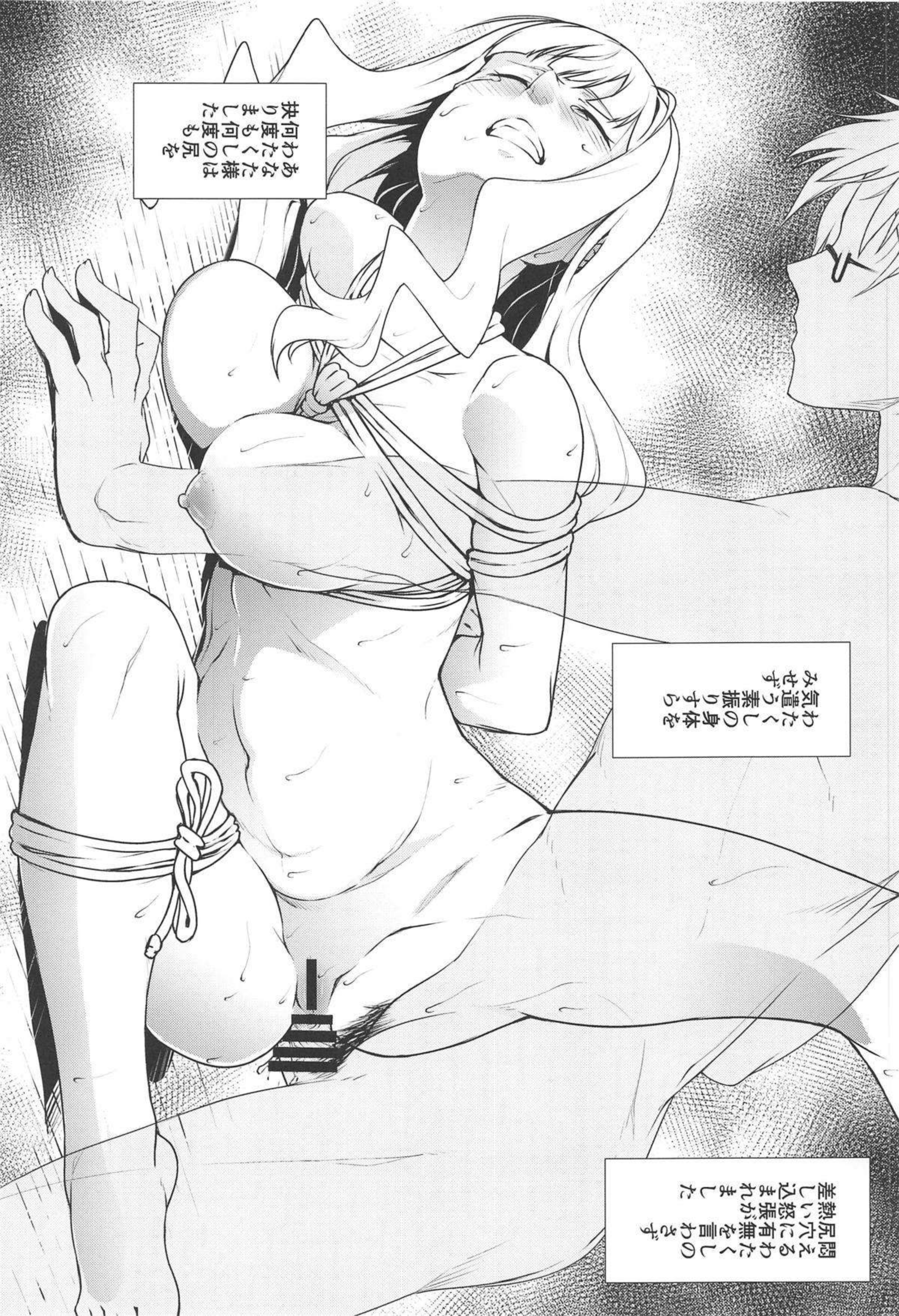
全身から
脂汗が
浮き上がります

腸の中も清め
てはいましたが……

羞恥心に
涙が浮かびました

ぬるりと尻穴から器具が
抜かれるのを感じます


椅子からは解放されても
縛られたこの身に
出来るのは惨めに
畳を搔くことだけです



あなた様は
わたくしの尻を
何度も何度も
挟りました

わたくしの身体を
素振りすら
み遣う
みせ

悶えるわたくしの
尻穴に有無を
言わさず
差し込まれました



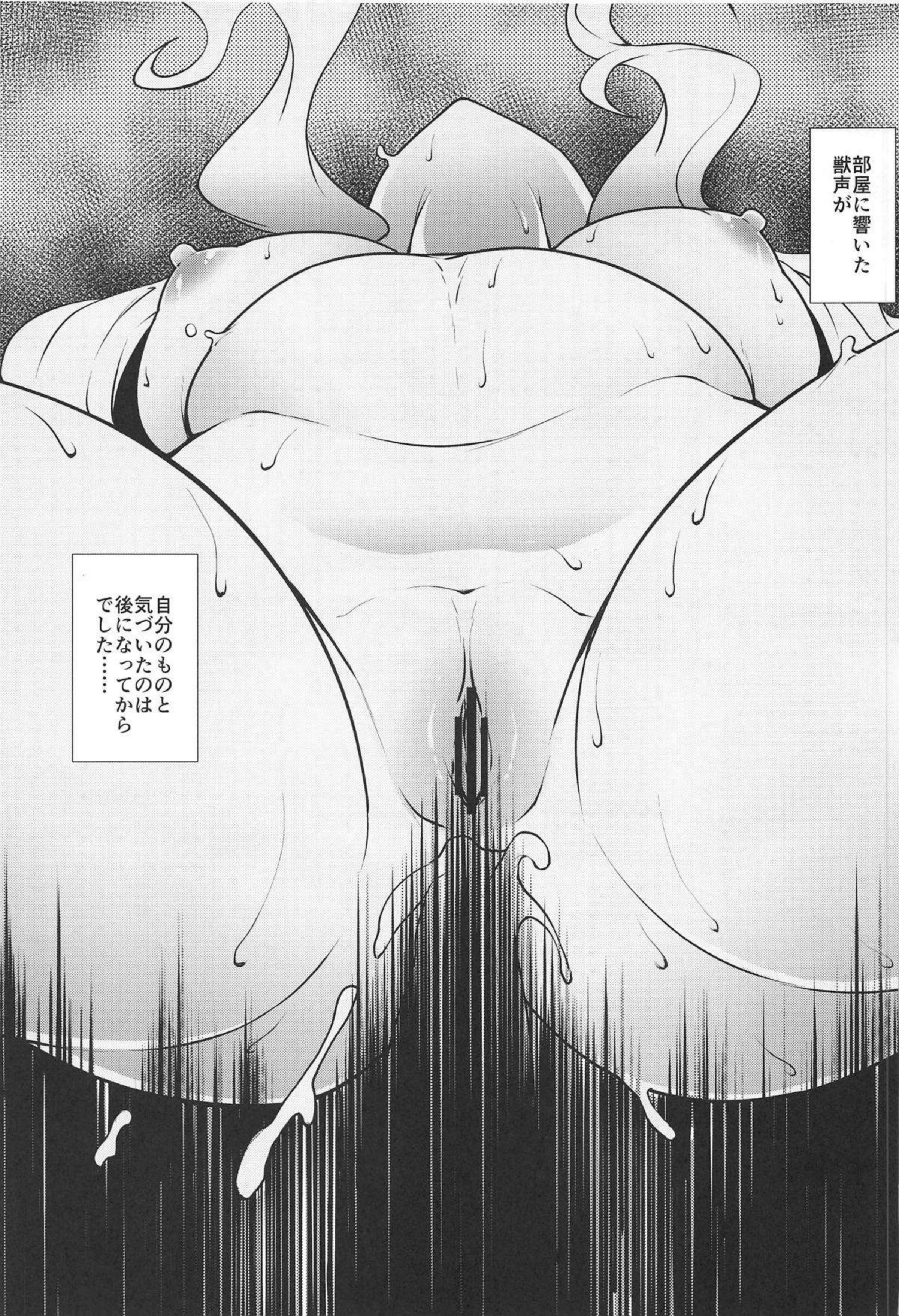
わたくしも
粗相をしてはならぬと
必死に堪えて
おりましたが……


決壊の時は
やってきたのです

しかし

部屋に響いた
獣声が

自分のものとは
気づいたのから
後になつてから
でし……





ただ一度の交合で
この夜は終わりません

今度はわたくしを
天井から吊るしながら
蜜壺を掻き回されます

天にはまだ月が高く
坐しております

わたくしは祈ります
どうかまだ月が
天にありますように
この時が続きます
ように……

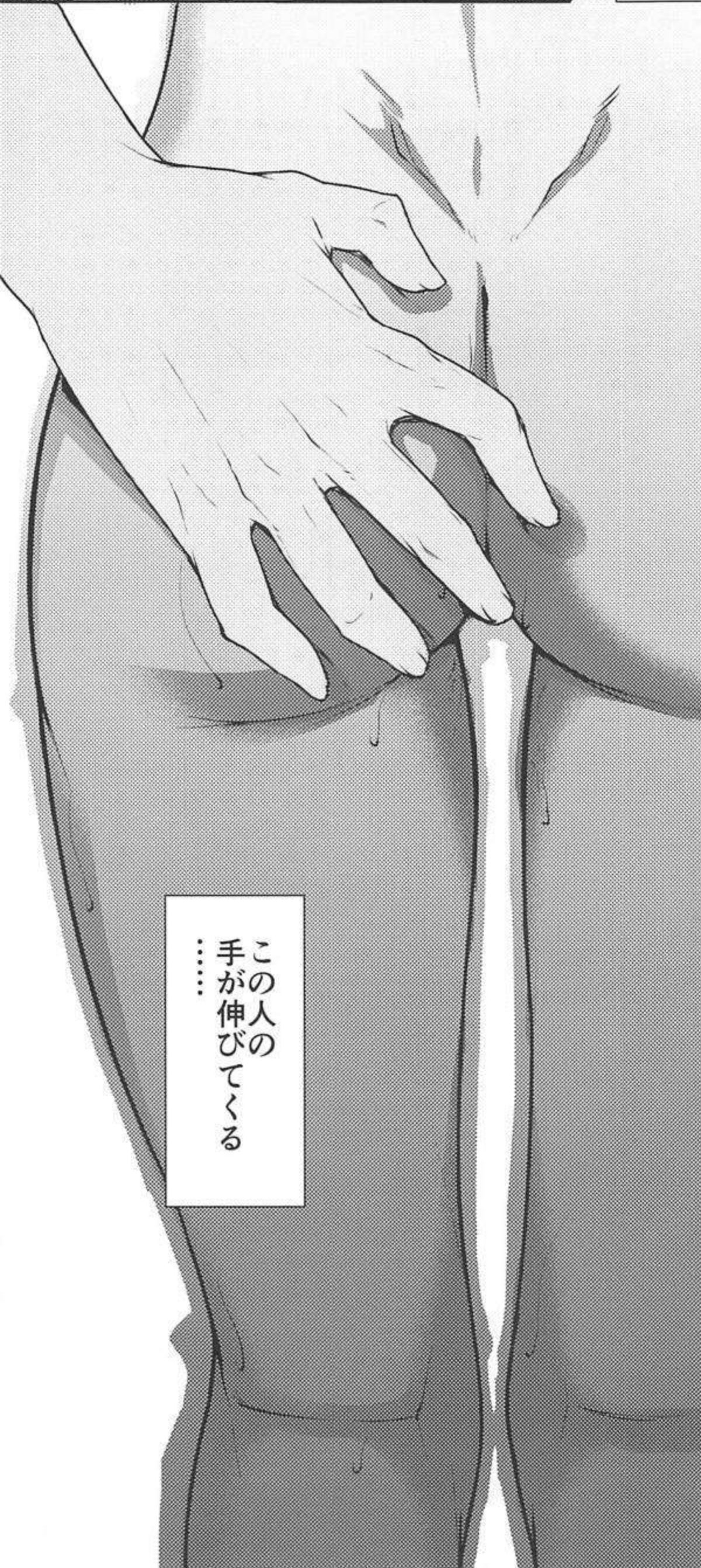
律子編



夜遅く 残業明け
溜まるストレス
膨れ上がる……



そんな時



……
この人の
手が伸びてくる

こんな格好の
何がいいのか
……

こっちの方が
気分が出る
らしいけど……

シャツと
ジャケットを
着たまま
楽しみたいと言う

応じてしま
う私大概か
もしれない……



跪いてプロデューサーの
チンポを口に含む

口の中に
僅かな塩味
が広がる

今日はまだシャワーも
浴びてないせいかな

舐めて吸って転がして
みるみるうちに
固くなっついていく
イクのを我慢する顔は
少しだけかわいい





そんな私の心配を
よそにPの心配を
アナルねぶりは続く

ものすごく
恥ずかしい……
まだ処理もい……
……
していないのに……

今度は私を
無機に押し付け
アナル慮に付け
口



そっくろくしてゐるぢやないか……



アナルへの衝撃に
おかしな声が出る

本当に
この人は……!?

私の想いなど
知らないと言
うように

遠慮も優しさもなく
突いてくる……

潰れたカエル
みたいな姿勢で
受け入れてしまう

だんだんと抽送が
早くなる
Pが達するの
も
時間の問題
だろう

急いで羽織っていた
物を脱ぐ
万が一出されたもの
が
ついたら大変だから

そしてお尻に
感じる熱……

その時私の背筋にも
悪寒に似た快感が
走り抜けた



三戦目が終わった頃
窓を見ると
外が白み始めていた

結局夜通し……

快樂に酔う
片隅で
跡から来る
子たちにとどんな
言い訳をするかな

そんなことを
考えていた



「プロデューサー！」
元気いっぱい
手を振りながら
待ち合わせ場所に
駆ける

Pも時間を合わせてくれた
だから……

明日から久々のお休み
つまり今から
お休みってこと

おしゃれにも
気合が入っ
ちやうよね！



入ったホテルは
まるで電車の中
みたいだった


ちよつと変わった
プレイができそうで
ワクワクする

早速Pのおちんちんを
取り出して啜える
いつもボクらのために
頑張ってくれてるんだ

お口にも
気合が入るよね!

いっぱいよくなつて
気持ちよくなって
欲しくて





すぐにプロデューサーも
興奮してボクを脱がせに
かかってきた

後ろから身体を
まさぐられながら
上着を脱がされた

もちろんキスも
忘れない
唇の間の唾の橋
興奮すのってボクだけかな？

脇 胸 オマンコも
丹念に念入りに
揉んで触って
舐めていく

手すりにボクを
捕まらせて
今度は置換プレイ

どうしよう
好きな人相手だと
こんなのも
濡れてきちゃう



すぐにお尻に入れた
今日最初はこっ
ちで
お楽しみ

Pももちろん
臨戦態勢だ

鉄棒によりか
り足を高く上
げてPを
誘う

ずんずんって
ボクのお尻に
Pのおちんちんが
叩きつけられる

プロデュースって
ねちっこかったり
激しかったり
色々するけど

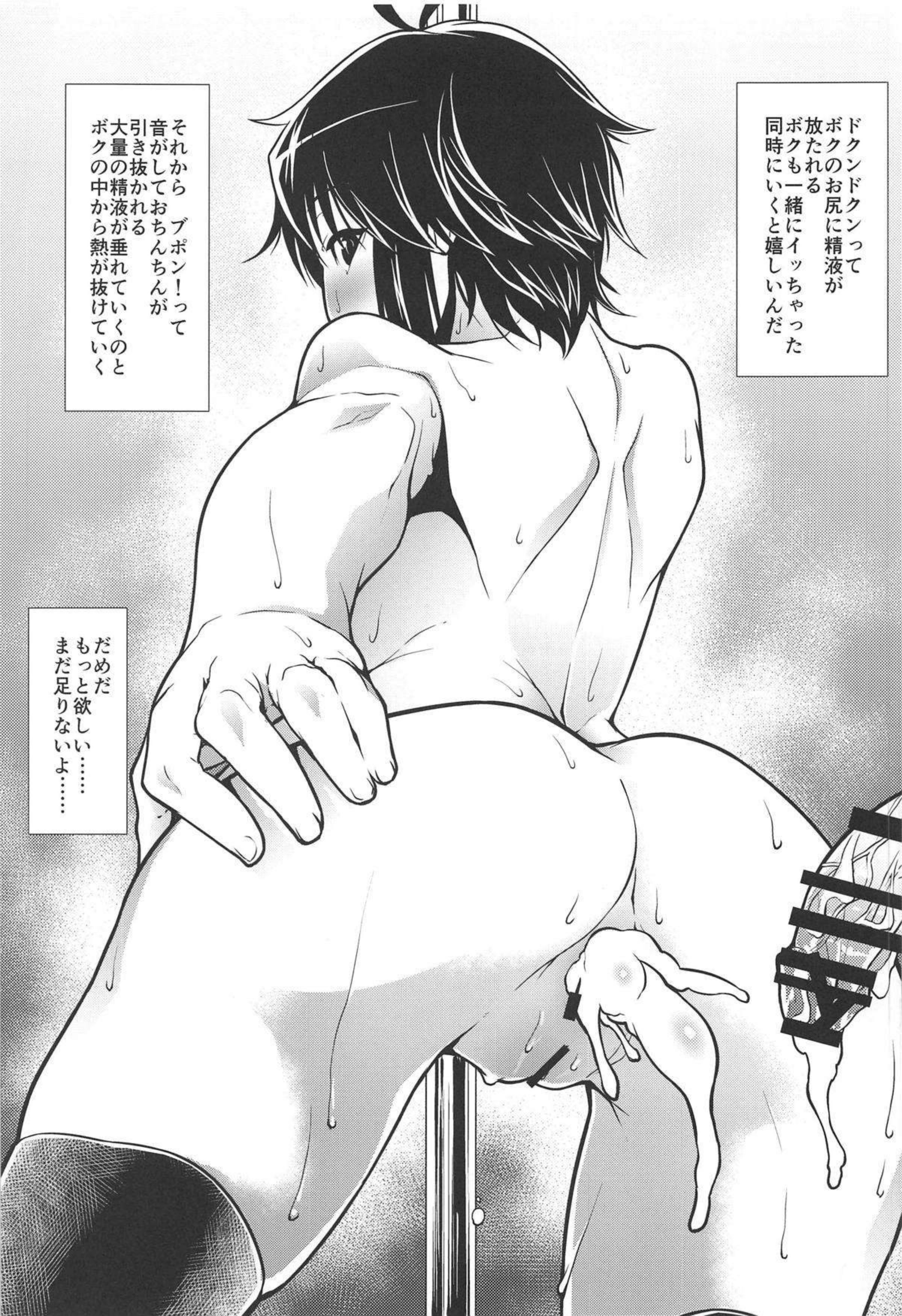
今日は本能のまま
でいくみたいだね
お尻好きなんだよね
Pって




ドクンドクンって
ボクのお尻に精液が
放たれる
ボクも一緒にイッちゃった
同時にいくと嬉しいんだ

それから ブボン！って
音がしておちんちんが
引き抜かれる
大量の精液が垂れていくのと
ボクの中から熱が抜けていく

だめだ
もっと欲しい……
まだ足りないよ……





椅子のところでちよつと休憩
でも今日も明日もまだまだ
残ってる

つぎはどんなこと
しよっかな!

だらしなく寝そべった
ボクを見てPも
復活したみたい

もっともっと
楽しまなくっちゃね!





あとがき

本書を手にとってくださり、ありがとうございます。
今回は一人8pほどでの短話集的なものでしたが。
いかがでしたでしょうか？
できればもっと一人ひとり濃い内容で描きたかった
のですが、それはまたいずれ。

それではまた次の本で。
あと同時に出したゼノブレイド2本も
よろしくおねがいします。

あ、あとタイトルのAFはアナルフアックの略です。

奥付：
発行者： k-you
発行日： 2018/12/31
メールアドレス： k.you986@gmail.com
PixivID: 73105
印刷会社： 株式会社 栄光

本書の無断複製、無断転載、無断でのインターネットなどへのアップロードを禁じます。

白雲